

# ある日突然、襲ってくるもの

— 脳梗塞からの生還 —

## 第2回：一年半を振り返って

※三角波：時化た海で方向の違う二つ以上の波が重なってできる三角形の波で、船の舵が取れなくなる危険な状態を言う。

私が原田豊さんを存じ上げるきっかけとなったのは、1996年、英国ニュースダイジェスト誌の人物紹介欄に原田氏が登場されたときだった。原田氏は当時、日系鉄鋼メーカー欧州社長の任期を満了し、ロンドンでビジネス・コンサルタントとして、ビジネスを立ち上げたと述べておられ、一流会社から新たな飛躍をされた原田氏の姿が深く印象に残っている。今回は、2016年に脳梗塞を発症された原田氏がいかに病を克服してきたか、原田氏の人生の三角波をお聞きする、全5回シリーズ。

(センターピープル代表取締役 飯塚忠治)



原田豊さんプロフィール

山口県出身。1965年東京外語大卒業。趣味はミュージカル鑑賞と、愛犬と一緒に近所の公園を散歩すること。週末には奥様と近所にお住まいの一人娘のお嬢さんと一緒においしいワインを楽しむという、家庭を大切にされるジェントルマンである。

2016年12月29日の早朝、原田氏(写真右)は突然、脳梗塞に襲われ救急車で病院へ。それからほぼ一年半が経過した。7カ月に及ぶ入院生活の後、現在は自宅でご家族の温かいサポートはもとより、医療関係者の協力や多くのご友人の励ましの中で、不自由になった身体の回復に向けリハビリに励んでおられる。2018年3月、春の陽光の中で少しずつ回復を実感し、明るい兆しを感じられている原田氏。そんな同氏に、奥様の美弥子さん(同中)、お嬢さんの智美さん(同左)と共にこの一年半余りを振り返り、脳梗塞、入院、そしてその後について、体験をお話しいただく。脳梗塞はそれなりの年齢になると誰にも発症する可能性がある疾患。原田氏は、ご自身の体験が読者の皆様のお役に立てばと、この対談を快諾してくださいました。



**原田さん** 誰にでも、「今日はちょっと体調が良くない」ということがありますよね。疲労から来るものも含め、何か少しおかしいなと思ったとしても、そう深刻には考えないものだと思います。でも今から思えば、当時、時々手に力が入らなくなることがありました。振り返ってみると、あれが前兆だったような気がしますね。

**飯塚** 救急患者ということで入院され、その後、回復するに従い、ほかの病院へ転院されたとお聞きました。病院での生活全般についてお話しいただけますか。

**原田さん** 入院は結局7カ月に及びましたが、その間2回転院し、合計3軒の病院で治療を受けました。最初は、救急車で運ばれた病院の緊急病棟。通常は、数日から1週間程度で症状に合わせた病院へ移ると聞いています。私は1週間目で2軒目の病院へ移りました。普通そこでは検査や治療をしながらリハビリを行い、検査結果が落ち着いた後、リハビリ専門病院への転院となるようです。正直なところ、最初と2軒目の病院のことは断片的にしか覚えていません。ただ私の場合、後遺症は深刻だったものの、元々健康であったこともあり、かなり早い段階でリハビリ病院への転院が決まりました。状況によってはかなり長く待たされることもあると聞いていたので、とても嬉しかったです。

**飯塚** リハビリが早い段階で始まるのは、良いニュースということなのですね。

**原田さん** 脳梗塞のリハビリはとにかく早くスタートするのが良いそうです。私も、既に救急病棟にいる時からセラピストによるリハビリが始まっていました。ただし2軒目の病院では、まだ椅子に数時間座っているのも辛い状態

でした。ですので、リハビリ病院へ移ったら、そこでは本格的にリハビリに取り組みようと、大きな期待をしていました。ところが転院予定日を目前に、同室患者のノロウイルスに感染し、リハビリ病院への転院が延び延びになるというハプニングに見舞われました。

**飯塚** 早く回復したいというお気持ちがあったのに、どれくらい転院が延びるか分からないのはお辛かったですよ。

**原田さん** 全くその通りで、次のステップへの足止めを食らったのが精神的にとてもしんどかったです。転院予定は結局1カ月も延びてしまいましたが、感染といっても一般的に言われるひどいノロウイルスの症状は出ず、あまり体力が落ちなかったのは不幸中の幸いだったかもしれません。

**飯塚** それをお聞きしてほっとしました。

**原田さん** NHSの悪い噂はよく聞きますが、一度治療が軌道に乗ってしまえば、とても手厚い対応をしてけると感じました。できる限り自立支援に向けてサポートしてくれます。仲間内でも同意見の人が多かったです。

ご友人からのお見舞いの短歌

リハビリに たゆまず励むと 伝へ聞く  
君の姿を 今日思へり  
(歌人 渡辺幸一さん)

※ 原田さんは回復途中で言葉を話すことがまだ自由ではありませんので、対談中は美弥子さん、智美さんにお手伝いいただいています。

本コラムの過去記事は、下記アドレスでご参照いただけます  
[www.centrepeople.com/japanese/article](http://www.centrepeople.com/japanese/article)



**飯塚** もうすぐ初夏、ここきて天候も良くなり原田さんも外出されることでお気持ちが晴れ晴れする日々が多くなってきたのではないかと思います。今日はこれまでの道のりについてお話をお聞きます。前回、救急車で病院に搬送される前日にGPに行かれたとお話しいただきましたが。

**原田さん** 前日、突然右目が見えなくなり、言葉も思うように出なくなりました。症状は一旦落ち着いたのですが、大事を取ってGPに行き、着いたときには症状が治まっていたので、様子を見るということで帰って来ました。

**飯塚** 症状が落ち着いていたという、喜ぶべき状況が――。

Presented by  
**centre people**  
Recruitment Consultants

情報を発信し続けるセンターピープルは、人材紹介、派遣のエキスパートです。  
誠意をもって心をこめたサービスを企業様、ご登録者の皆様に提供することを常に目指しております。